

研究テーマ	文化祭に向けて余り材を使った木工作品（小物・木のおもちゃ）製作		
発表形式	研究発表	学校名・科	群馬県立前橋工業高等学校 建築科
<p><b>1 研究のねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりを通して、木材の温かみや特性について関心を持つ。</li> <li>木工作業に必要な技術や技能を身に着ける。</li> <li>文化祭に向けての作品製作。（建築科 PR 活動）</li> </ul> <p><b>2 研究計画</b></p> <p>4月 班編成 作品製作の資料集め。  5月 ペンケースの製作。（各自寸法決め、機械操作の習得など）  6月～ 文化祭に向けての作品づくり。</p> <p>11月 文化祭（建築科 木工作品&amp;木のおもちゃ販売）  12月 まとめ 研究発表に向けてのプレゼン制作</p> <p><b>3 研究内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廃材になる木材の再利用した作品製作。</li> <li>本校の文化祭を通して、木工作品の販売や木と触れ合うコーナーを設ける。建築科の PR 活動。</li> <li>製作に必要な木工器具の使い方や安全な扱い方を学び、木材の性質を生かした技能を習得する。</li> <li>作品テーマを自ら考え、効率よく・品質の良い作品づくりをする。</li> <li>班みんなで、協力して取り組めたか。</li> </ul> <p><b>4 研究成果と課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりに関心を持って怪我もなく作業に取り組めたが、不慣れな機械作業などもあり作品数を思ったほど作れなかった。</li> <li>余り材や廃材を使った木工作品は、資源の無駄のない利用で活かされたと思う。</li> </ul> <p><b>5 感想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作る際に、木目を合わせるのを忘れて穴を開ける位置や組み立てる順番を間違えたりしたけど、その都度反省を活かして完成度の高い作品を作ることができました。文化祭でお客さんに販売した時に、自分達の作った作品を手にとって褒めてくれたり、買ってくれたりする様子を見てとても嬉しくなりました。</li> <li>課題研究を通して木材加工の技術を身につけ、ものづくりの楽しさを学ぶことができました。友達と協力して文化祭の販売時間までに完成させることができたので良かったです。</li> <li>実習では使わなかった電動丸ノコなどの大きい機械を使うことも慣れて個人的な進路の役にも立ったと思います。子供が遊んでも危なくないように角を削ったり、滑らかにするなど工夫しました。</li> <li>文化祭では私たちが作ったものは全部売れたし、展示だけのものもたくさん遊んでもらえて一から自分で作る楽しさを感じました。</li> <li>年間を通して、文化祭に向けて様々な商品を作りました。みんなと協力しながら製作し、文化祭では来てくださった方の笑顔をたくさん見ることができました。課題研究を通して、ものづくりの魅力に気付くことができました。</li> <li>もともものづくりが好きで木工班に入りましたが、課題研究で初めて使う工具や加工方法など学ぶことで作れるものの幅が増え、ものづくりがより一層好きになりました。みんなで協力して製作したものを販売し、売れたときはとても嬉しく努力が報われた気がしました。コロナで活動が制限されることもありましたが、文化祭では、完売し大成功に終わったのでよかったです。</li> <li>木の筆箱と文化祭で販売する木のおもちゃ（カタカタ人形・電車）の製作をしました。電動丸ノコなど、始めて使う機械がいくつかありましたが、使っていくうちに慣れてきれいに加工できるようになっていくのが楽しく木工の魅力に気づくことができました。課題研究を通して木材加工の技術を学ぶことができてよかったです。</li> </ul>			